

● 下水道について知りたい！

下水道の役割について／使用料の主な使いみちについて

下水道の役割について

「下水道 水が自然にかえる道」（平成29年度下水道推進標語）

生活の中で発生する汚水と雨水を合わせて「下水」と言います。

そして、汚水を処理したり、雨水を集めて川に排水する管などの施設を総合して「下水道」と言います。

下水道の大きな役割は次の3つです。

- 人々が快適で衛生的な毎日を送ることができるようにすること（公衆衛生の向上）
- 川や海をきれいにしよみがえらせること（公共用水域の水質の保全）
- まちに雨水がたまらないように処理すること



下水道キャラクター
スイスイ

下水道使用料の主な使いみちについて

平成28年度は、皆さんから4億9千6百万円(税込)の下水道使用料をいただきました。

「下水道」に流入した汚水排水は、県の北上川上流流域下水道の下水道幹線を通り、都南浄化センターまで運ばれ、きれいに処理された後に北上川に放流されます。

この汚水処理費用の財源こそが、皆さまの下水道使用料です。

市は浄化センターに汚水処理費用として1立方メートルあたり43円(平成29年度現在単価)、年間で約1億7千万円を負担しています。



下水道キャラクター
スイスイ

また公共下水道の汚水を送水する施設等の維持管理費用も使用料が財源です。

市内には現在28か所のマンホールポンプがあり、皆さまの汚水排水が浄化センターへ流れていくように常に働いています。

最近、マンホールポンプに布やオムツのようなものが詰まるということが多く発生しています。これは、汚水があふれるかもしれないという心配が生じると同時に、ポンプが故障してしまう原因になります。

台風などで停電が生じた場合は、マンホールポンプが停止しないように電源等の確保が急務となります。こういった災害時の費用も皆さんに負担いただいている使用料により対応が可能となっています。

維持管理費用は年間で約5千2百万円(税込)ですが、台風や大雨が多い年などは増えることがあります。

足洗い場や雨どいを下水道に接続したり、布などを流したりすることは、雨水に要する処理費用をかけることになったり、詰まりによる故障への費用をかけることにつながります。

きれいに処理する必要のない雨水を処理することは余計な費用を要することにもなります。下水道使用料の値上がりとなる要因をなくしていきましょう。

